

令和3年度 関係者評価の結果について

令和3年度に実施した認定こども園桜台いちい幼稚園・保育園の自己評価の結果についての関係者評価の概要は次のとおりです。

学校法人 北邦学園
認定こども園桜台いちい幼稚園・保育園

建学の精神「自然から学ぶ」

1 本園の教育保育目標

- ◎ 思いやりのある子
- ◎ 丈夫で明るい子
- ◎ 想像力豊かな子
- ◎ やる気のある子

関係者評価の区分

- A：成果を上げている。
- B：ある程度成果を上げている。
- C：もう少し努力が必要である。
- D：改善が必要である。

【各学年のねらい(年間)】

- 0歳児 様々なものに興味をもち、保育教諭や友達との触れ合いを楽しみながら遊ぶ
- 1歳児 身近なものに興味をもち、保育教諭や友達と関わりながら、いろいろな遊びを楽しむ
- 2歳児 様々な遊びをする中で、友達に親しみをもちながら、一緒に遊ぶ楽しさを感じる
- 3歳児 様々な遊びや活動に興味をもって取り組む中で、自分なりに気持ちを表現し、いろいろな友達との関わりをもちながら楽しく遊ぶ
- 4歳児 様々な活動に目的をもって意欲的に取り組む中で、いろいろな友達と気持ちや考えを言葉で伝えながら、一緒に遊びを楽しむ
- 5歳児 様々な活動に積極的に取り組む中で、一人ひとりが自分の考えに自信をもって行動し、いろいろな友達と互いに気持ちや考えを認め合いながら、遊びや活動を進める

自己評価	各学年のねらいに対する評価内容	関係者評価	
		評価	意見等
「B」	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末現在の子どもの姿と照らし合わせてみると、どの年齢も概ね目標としてきた成長段階に達することができたと感じる。 ・3.4.5歳児は、コロナ感染・密を避けるため、様々な対策をとる中で、友達に親しむ・気持ちを伝え合うことや認め合うということに重きをおき、援助を行った。やはり様々な経験が少ないため、まだまだ個人差は感じられる。しかし、今後の成長においてねらいにする視点としては可能であると感じるため、引き続き着目し進めていきたい。 	「B」	<ul style="list-style-type: none"> ・学校もですが、園では人との関わりを通して、自分作り、人間関係作りを行っています。桜台のねらいは、自分⇒他者⇒自分作りと段階をおさえたねらいをたて、それを則した遊び、活動を進めていることが分かります。 ・コロナ対策のため、異年齢交流が難しかったことは推察できます。そんな中でも、子供達は積極的に関わりを深め、やりたい遊びや伝えたい思いはしっかり発信できていたと思います。 ・コロナで色々と制限がある中で、多くの対策をしっかりとされていたと思います。 ・思いやりの気持ちを育む大切なことだと思います。 ・友達の名前や楽しかったことなどを家でも話をしてくれるようになり、友達との関わりを促してくれるような援助をしてくれているのを子供の姿から感じ嬉しくなりました。

2 重点的に取り組んだ目標・計画について

目標	具体的な取り組み計画	自己評価	関係者評価	
			評価	意見等
環境を生かした保育の工夫	<p>☆自然を生かす保育</p> <ul style="list-style-type: none"> *園内研究・自由遊び・いちいの村遊び・アイスオーナメント制作・預かり保育など *園内研究に関しては今後の活動に反映させられるよう、取り組み内容やその際の配慮点などの反省や評価を具体的に残す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、園庭に大型遊具シルフィ号が完成したこともあり、その遊具を中心に、園全体の遊びの場としての環境と自然から織りなす環境の違いに気づくなど、一人ひとりが改めて、環境の重要性に気づききっかけとなった。 ・コロナの関係もあり、計画していたような保育を行うことは難しかった。しかし、様々な自然を生かしながら製作を楽しみ、遊びを行うことは出来たと感じた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・『自然から学ぶ』これを最重点としていること、大変うれしく思います。積極的に自然との関わりを得られる場がもてること、また、それを保育者の見守りの中で実施できることがとても価値あることだと思います。これからも学びの芽生えを意識した活動の展開をお願いします。 ・例年に比べると、出来なかったこともあると思いますが、いちいの村や芋ほりをする、広い園庭で遊ぶだけでも、自然に触れて経験値が高くなっていると思います。シルフィ号が完成したことで、今まで見えなかった高さから、木や園舎、車などを見ることも、子供達の学びに

<p>自己評価 「B」</p>	<p>☆保育教諭一人ひとりの柔軟な想像力 *ホッピーディや園内研究を中心として、遊具や素材にこだわらず、ありのままの自然環境を生かし保育を工夫する。</p>	<p>・職員構成としては、若い先生が多い中ではあったため、今後も綿密な計画を立て、保育に生かせるよう援助を行う、その中でも逆に形にとらわれず自由な発想をもとに、環境を生かした保育も出来たように感じた。</p>	<p>「B」</p> <p>繋がっていると感じた。 ・制限が多い中でも、毎日お迎えに行くと、顔を真っ黒にして遊んでいる姿が見られました。かえるが好きになったり、ダンゴ虫がポケットに入っていたり、これからもいちいらしく自然の中でのびのびと遊ばせてほしいです。 ・新しい遊具によってまた、遊びの幅が広がりとても素敵なことと思います。また、状況に応じた柔軟計画変更はとても良いと思います。 ・戸外遊びを存分にさせてもらえたおかげで、子供達もすっかりアウトドア派になり、日々季節の遊びを存分に楽しめるようになりました。近所の公園の砂場で遊んでいるのは、だいたいいいちの子ですね(笑)</p>
<p>職員間の意思疎通と連携体制</p>	<p>☆情報の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりが、園の会議録を確認できるよう記録し、報連相を意識する。また内容によっては職員連絡網(コドモンのアプリ)を使用し、素早い情報共有を意識する。 ・職種に関わらず、仕事に責任をもち、一人ひとりが情報の重要性を意識して対応を心掛ける。 	<p>・コロナでの休園や様々な対応に合わせて、コドモンのアプリを活用することで、状況に合わせて臨機応変な対応を心掛けた。</p> <p>・情報の共有という点では、毎年職員の入れ替わりもあるため、職員一人ひとりが園で知り得た情報の重要性をしっかりと認識し対応出来るよう、年度当初に時間を設けるなどの改善を図る。</p>	<p>・ちょっと気になったのは、保育室に保護者からの手紙がホワイトボードに貼ってあり、個人情報では?と思ったことがあります。間違えないように忘れないようにとのことからとは思いますが、気になりました。</p> <p>・情報の共有に関しては、なかなか伝わらない事も確かにありました。(バスのミスなど) また、コロナ対応においても、その職員によって対応が違う時もあったため、必要のない園児のプライバシーではなく、有益な最新の情報を全職員で共有してください。頑張ってくださいね。</p> <p>・職員数が多いと報連相などの共有が難しいと思いますが、意識して取り組んでいるように感じました。</p> <p>・コドモンアプリで様々な情報を発信してもらえることで、必要な情報を遡って検索することが</p>

<p>自己評価 「C」</p>	<p><u>☆職員体制について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シフト勤務により、全体での打ち合わせを行う時間を見つけ園運営が円滑に進むよう努めた。 ・預かり保育については、多い日だと園児 80 人ほどで保育を行うことも多く、またコロナ対策にあたり密にならぬよう、安全で安心した環境での職員配置となるよう努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度からの課題であった、バス連絡は、やはりミスが多かった。預かりやバス利用・英語やピアノ教室など対応が複数になってしまい、伝達や確認ミスが前半は多かった。しかし後半になると、注意点が明確になったことと、確認に確認を重ね、少しずつ、ミスは減ってはきた。だが、この点については、今後もしっかりと意識して努力する必要がある。 ・保育の充実化を深めるためには、しっかりと計画と打ち合わせを意識して保育を進めることが出来たと感じた。 ・職員体制は人員を補強し強化できた。しかし、コロナ関連で職員に欠員が出来た時には、より安全の中で保育を進められるよう、園全体で対応することにより、充実した保育運営を行うことが出来たと感じた。 	<p>出来て便利です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダブル・トリプルチェックは責任の所在が曖昧になりがちなので、何か良い方法が見えるかるといいなと思います。 ・早朝勤務を配置したことは、すごく良いと思いました。長時間労働を防ぎ、長い目で見ると、離職防止にもなります。長く勤めてもらえることで、経験豊富な職員が増え、より安心して安全な環境になると感じました。 ・先生たちが体力的・精神的に余裕を持って保育を行えますように。 <p>「B」</p>
<p>保護者理解と連携の強化</p>	<p><u>☆保護者との連携について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・HPブログの定期的な更新。 ・「コドモン」を活用した保護者との連携 ・保護者配信の見直し ・保護者との連携。(送迎時や電話での会話を充実させる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢別のお便りとしての写真を掲載してのブログや園のブログなど、実際の園での様子を保護者の方にご理解いただけるよう適時配信し、お伝えすることができた。だが、今後も掲載方法を検討し、工夫を行っていく必要があると感じた。 ・コドモンは、保護者の方にもたくさんのご意見をいただき、活用範囲も広がったことで有効利用へと繋がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コドモンは素晴らしい。SDGS！紙削減！今までは、大量のプリントを職場にもって行き確認していたが、どこでも確認できるのはとても便利で効率的に良い。年間行事予定表は、紙面でほしいと言っている保護者もいました。 ・お迎えやJRの遅延などコドモンを2号も使えると助かります。 ・コドモンの導入により、連絡が伝わりやすく、スムーズになりました。 ・ブログの更新など園からの情報は保護者にとってはとても有難いことでした。

<p>自己評価 「C」</p>		<p>ていると感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> しかし、このコロナ時代でもあるため、直接保護者の方とゆっくり対話することが出来なかったことが残念でならない。 	<p>「C」</p>	<ul style="list-style-type: none"> お迎え時には、たくさんの先生が保護者に丁寧に対応をしているのを見て、とっても良いなと思っていました。 対面でしか、分かり合えないこともあるので、少し残念に感じたこともありました。 いつもお迎え時に気持ちの良い挨拶をして頂けて、また顔見ただけで誰の保護者かということを理解していて感心しています。 お迎え時や電話連絡で十分にコミュニケーションも取れていて安心していました。
<p>園の安心・安全に関する知識を高める。</p> <p>自己評価 「B」</p>	<p><u>☆事故やケガへの危機管理について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたち一人ひとり様子をしっかりと把握しながら、遊具や設備などの安全面への意識を <p><u>☆災害について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 地震や火災のみならず、様々な状況を想定した一人ひとりの意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 敷地が広い、園のため外部からの侵入など不審者対策として、職員一人ひとりが防災防犯ホイッスルを身につけ危機管理に努めた。また、ケガや事後なども未然に防げるよう遊び方なども細目に子ども達と再確認するのど周知徹底に努めた。 様々な状況を想定し、避難訓練を行うことで、職員の非常災害に対する意識には繋がったように感じた。 	<p>「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 様々なことを想定して、準備し進めていることは、保護者にとっても安心に繋がると思います。 防犯ホイッスルは、すごく良い取り組みと思います。 外遊びの際に、各遊具や木登りの付近にも必ず、一人の職員が援助しているのが印象的でした。大きなケガをすることなく、安心して通うことができました。 子供達自身が危険から自分や友達を守るという意識も出来るよう育てていきたいですね。 今年の大雪では毎朝、門の前で交通整備ご苦労様でした。感謝しています。 グラウンドに駐車ゲートを付けてもらえて、安心して駐車することができました。

				<ul style="list-style-type: none"> ・我が子は避難訓練の話をしていて、しっかり園でのことを学んでいると感じました。 ・防犯や防災は方法が絶えず変化するものなので、永遠に取り組んでいく必要のあるものなので、中々評価『A』にはできないですね。
<p>コロナウイルスに対する衛生管理の意識について</p> <p>【自己評価】</p> <p>「B」</p>	<p>☆コロナウイルスや遊びの中のケガなど危機管理をもって保育に努める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期化している新型コロナウイルスに伴う対応を怠ることなく、日々しっかりと意識をし衛生管理に努める。 ・昨年までの経験を活かした保育を行う。その中でも子ども達が安全で楽しく過ごせるよう保育の創意工夫を行う。また、日々の報告会の中で気付いたことや配慮などを伝え合い互いの情報を共有し合う。 ・保育者や子ども自身が安心・安全とは何かをしっかりと考え、一人ひとりが意識して過ごせるよう配慮する 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員をもちろんのこと保護者の方にも多くのご協力をいただきながら、衛生管理を意識し、予防対策に努めた。 ・毎日、こまめに園内や遊具・玩具の消毒を行い、安全且つ安心できる環境作りを行った。 ・黙食やマスクの活用・手洗いうがいなど、コロナ生活が子どももしっかり身に付き、園生活を過ごす姿がみられた。また、職員間でも互いに声を掛け合い、新たな消毒の仕方や保育の進め方などコロナを意識した生活を心掛け、危機管理に努めた。 	<p>「B」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスター発生がなかったのは、日々組織的に感染対策を行っていたことや職員一人ひとりの高い意識による対応からと思います。感染対策というのは、誰かだけが頑張るものではなく、みんなが共通の認識をもち、ルールを守らなければ意味がありません。家庭事にその辺りの教育の格差がある中、先生達が、正しい感染対策を子供達に伝えてくれていたように感じました。 ・お誕生会見学の時にマイクを一回ずつ消毒することやマスクの仕方への声掛けなど、諦めずに園児を感染させないと全力で取り組んでいる姿が伝わりました。 ・多くの子供達を抱え、コロナ禍でも出来る限りの範囲で色々な工夫と努力をして頂けていたと感じました。 ・帰宅後にも自主的に手洗い・消毒が出来るようになり、園での対応が自宅でも定着していると感じました。 	

3 評価項目の達成及び取組み状況について（※各個人の自己評価チェックリストによる）

評価項目	達成及び取組み状況	関係者評価	
		評価	意見等
<p>「教育保育の計画性」について</p> <p>自己評価 「B」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 園で作成した「教育保育課程・指導計画」を使い、個々の成長やクラスの状況と照らし合わせながら、計画的に保育を実施することができた。 定期的に乳児・幼児クラスは月に1回、もしくは2回、学年部会を行い、ねらいにあった成長の援助を行えているのかを話し合う場を設けたことにより、子どもの育ちにあった援助を行い、職員間での連携も図れた。また、経験の浅い職員も多いことから、より綿密に計画をし、見通しをもって保育を行うよう努めた。 感染症対策もその都度、見直し検討を繰り返し工夫しながら実施した。 	「B」	<ul style="list-style-type: none"> あらゆることを想定し、計画を立てて実践することは、とても大切なことです。それと働き方改革とリンクするとなお良いですね。 子どもの成長に合わせた計画を立てることは、当たり前ですが、経験の浅い職員でもベテランの先生と同じような、保育を提供出来る様な計画を立てたり、連携していくことは素晴らしいと思います。また、見通しが立つと、職員も不安はなく自信を持って保育ができるようになると思います。 しっかりと考えられた保育をさせていただいていると感じています。 年度末になると、進級に向けての対応など細かく丁寧な対応に感謝しています。
<p>「教育保育のあり方、幼児への対応」について</p> <p>自己評価 「B」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新しい生活様式を踏まえた上で、その都度どのような教育・保育が望ましいのか検討し、工夫しながら対応した。 職員構成が若く、今年は気付きよりも職員一人ひとりの学びへと繋がるよう、意識しながら取り組んだ。また、その学びが子どもとの向き合い方にも生かされ教育・保育の大切さや対応の重要性へと繋がった。 		<ul style="list-style-type: none"> 経験の浅い若い先生が多い年でしたが、しっかりサポート体制も取れていたと思いました。若い先生・ベテランの先生、それぞれに良いところ、素晴らしさがあります。全ての先生方のこれからの活躍を心から応援しています。

		「A」	<ul style="list-style-type: none"> ・若い先生がやりがいを感じて、子供達に向き合えるように援助することはとても良いことと思います。 ・特に不安もなく、安心して子供達を預けることが出来ました。また、その都度子どもの成長した姿などを教えてくださりとても嬉しかったです。
<p>「保育者としての資質と能力」について</p> <p>自己評価 「B」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の現在の状況に合わせた保育者としての正しい姿を検討し、どのような対応の仕方、援助が適切なのか話し合う機会を設けて取り組んだ。そのことにより、保育者としての資質能力の向上にも繋がったように感じた。 ・タブレット端末などを活用してオンラインによる研修に参加した。参加は自主制によるものではあるが、日々の業務からもそれほど多くの研修には参加できずそのため、時間を上手く使いながら、様々な視野を広げるため今後も積極的な参加を促せるよう心掛ける。 	「A」	<ul style="list-style-type: none"> ・研修は可能な限り、業務として参加させるようにした方が参加率が上がります。自主性に任せると、若年層や新入社員は受講すると言いつづらく、ベテランは自信があるので新しい知識の修得に積極的になりづらと思います。 ・先生達の学び合いの機会が多く、とても良いことだと思います。 ・保育者の正しい資質がどのようなものか分かりませんが、いつも明るく子供達や保護者にも声掛けしてくれるので、保護者としても安心して預けられました。
<p>「保護者への対応」について</p> <p>自己評価 「C」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も残念ながら、参観日など子どもたちの成長した姿をお伝えする場が少なく、残念であった。感染対策などを更に工夫し次年度はより、保護者参加の可能性を模索しながら対応を工夫していきたい。 ・コドモンのシステムやお手紙などの発行物の内容・活用方法を検討し、保護者理解を深められるよう努める。 ・アプリを活用しての、保護者へのお知らせなどは、文章のみの配信によるものなのできちんと掲載内容が伝わる工夫が足りなかった点や情報の取り扱いには、より細心の注意を心掛ける努力が今後も必要である。 	「B」	<ul style="list-style-type: none"> ・評議委員会や保育の計画や評価なども可能な範囲で保護者も閲覧出来ると嬉しいし、園への理解へと繋がる気がする。 ・よく努力されていると思います。さらなる向上を目指す姿勢が素晴らしいです。 ・期限のあるものなど、情報によっては、紙でもらえると助かります。

<p>「地域の自然や社会との関わり」について</p> <p>自己評価 「B」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨今、天災が多いため月1度の災害避難訓練には、先ず職員一人ひとりがしっかりと意識し対応するよう心掛けた。 ・備蓄品やハザードマップなども随時確認し、適宜順応した対応を心掛けた。 ・今年度も、交流は難しかった。ただ、厚別西小学校さんとは、オンラインを活用し、楽しい交流をもつことも出来た。また、その交流が子どもたちの良い成長へと繋がったため、次年度もこの経験を活かし、検討を進めたいと考える。 	<p>「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校交流はオンラインなど可能な範囲で交流させていただいて、とても子供は喜んでいたり、学校へのイメージも出来た様に感じた。 ・厚西小交流は、オンラインを活用して行えてとっても良かった。 ・現状の中で、できることを十分に取組んでいると思います。 ・コロナ禍や雪害でいつも通りには中々いかない中で、出来る範囲で活動を行ってくれたので、子供達も喜んでいました。
<p>「研修と研究」について</p> <p>自己評価 「B」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研究については、今年、新たな大型遊具が完成したこともあり、昨年度に引き続き、環境や異年齢についての主題設定で行った。年齢に合わせたねらいや援助などは概ね達成できたと感じた。自主性という点についても、昨年度の反省を生かし、気付きに繋がる様子は見られたものの、より実りある保育を行うためには引き続き、子ども・保育者の自主性を意識した対応を心掛けていく必要がある。 ・オンライン研修などに出来る限り意識して参加した。 	<p>「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産業保健師をやっていて、メンタル不調者、体調を崩しがちな社員と話すことが多いのですが、『自主性』はとてもキーワードになっているように感じます。自分で決めたこと、始めたことは、責任ややりがいを持って取り組めますし、成功すれば、『自己効力感』を持つことが出来ます。小さい時にその体験、経験をしておくことは、子供が大きくなった時に思っている以上の意味を持つことになると思います。なので、桜台いちいは本当に素晴らしい園です！ ・忙しい日々の中で、時間を取るのも大変かと思います。学ぶ姿勢に頭が下がります。 ・年齢に合わせて様々な保育の工夫をして頂いている事を実感しています。これからもいちらしいお話の

			世界を大切にしながら、子供達がのびのびと楽しめる保育を期待しています。
--	--	--	-------------------------------------

4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法	関係者評価	
		評価	意 見 等
① 保育環境整備や環境構成の創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> これまでの経験により、子どもの成長に繋がる環境構成やそのための整備工夫を考え、日常の保育に生かせるよう工夫する。 様々な環境の中で、子どもたち一人ひとりが自ら考え自主的に行動できるような保育や園児が密にならぬよう、保育の進め方や環境を意識した工夫を行う。 保育研究や活動の中から各年齢の育ちや状況など環境に適した遊びを意識し、成長に繋げられるよう意識する。 	「A」	<ul style="list-style-type: none"> 何でもできるこの就学前の時期、自分で「やりたい」と思うことがやれる場はとても大切ですし、小学校での学びにも繋がると思っています。 季節に応じた園外での遊びが安全に守られる範囲で沢山楽しめたらいいなと思います。 姉妹園の環境設備やいちいの村など自然たっぷりに触れられる施設で遊ぶ事が出来るのが桜台いちいの魅力だと思います。
② 保育教諭の主体性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 職員体制の変化に伴い、報連相などをしっかりと意識し体制を整え、保育に努める。 様々な場面の中で、自分自身でしっかりと目的や意志をもち、自主的行動へと繋げられるよう、個々に話し合いの場を設けられるよう取り組む。 (個別面談などを細目に設ける) 	「A」	<ul style="list-style-type: none"> これまでの取り組みを変更するに辺り、園としての発信・先生としての発信の両方があると尚良いと思います。
③ 保護者理解と連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> これまでも努力はしてきたが、課題が多いため、より意識して理解に繋がるよう努める。 感染予防対策をしっかりと行いながら、保護者理解に繋がることは何かを職員間で 		<ul style="list-style-type: none"> 子供より親への対応の方が難しいですね。言葉遣い、コミュニケーション能力、伝え方、表情など。親は園での子の様子も知り

	<p>も常に意識し、開催方法や保育内容を熟慮し行う。</p>	<p>「A」</p>	<p>たいですが、家庭での子の様子を園にも知ってほしい時もあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色々な保護者がいるので、本当に難しいと思う。この職業を夢見てきた先生達のメインの仕事が保護者対応にならない様、保護者一人ひとりも意識できたら良いなと思った。 ・コドモンの導入で身体測定などいつでも確認できる便利差が増えた分、保護者側もしっかり確認するよう意識しなければと感じました。
<p>④ コロナウイルスに対する衛生管理の知識を高める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長期化している新型コロナウイルスに伴う対応を怠ることなく、日々しっかりと意識をし衛生管理に努める。 ・昨年までの経験を活かした保育を行う。その中でも子ども達が安全で楽しく過ごせるよう保育の創意工夫を行う。 ・保育者や子ども自身が感染症対策への理解を深め、しっかりと知識を得て保育に携われるよう努める。 	<p>「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・厚労省やこども未来局からくる連絡内容や情報を職員間でしっかり共有し、対策に取り組んでください。未知のウイルスなので、情報は日々変化しています。 ・もし、コロナ教育に良いものがあれば教えてほしいです。